

議員、住民のみなさんへ

輝け憲法と地方自治 連帯の力で くらしを守る政治へ



記念講演

10/16(土)

日米同盟の正体
—軍事・経済への影響—



孫崎 享

元駐イラン大使

基調フォーラム

10/16(土)

憲法をくらしと地方自治に

(コメンテーター)
川瀬 憲子



自治体問題研究所副理事長
静岡大学教授

2010 第10回 地方自治研究全国集会

in 岡山

10/16 12:00 受付開始 / 12:45 開会
岡山シンフォニーホール 他
●全体会 ●ナイター講座

10/17 9:30 → 15:30
岡山大学 他
●分科会 ●講座

主催 ● 第10回地方自治研究全国集会実行委員会
全国生活と健康を守る会連合会 / 全国商工団体連合会 / 全国朝日新聞人組合連合会 / 全日本民主医療機関連合会 / 全国保健医療団体連合会 / 障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会 / 新日本婦人の会 / 日本婦人団体連合会 / 日本母親大会連合会 / 自由法曹団 / 全国地域人権運動連絡会 / 市民間難民支援活動全国連絡センター / 自治体情報研究所 / 全国保育団体連絡会 / 日本科学者会議 / 新建築家技術者集団 / 国民医療研究所 / 公害・地球環境問題懇談会 / 農林運動全国連合会 / 民主教育研究所 / 日本自治体労働組合総連合会 / くらげ舞踊団連合会 / 全国労働組合総連合会 / 中央社会保険推進協議会 / 日本平和委員会

事務局 ● 自治労連 〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7
TEL 03-5978-3580 FAX 03-5978-3588
E-mail/info@jichiroren.jp http://www.jichiroren.jp/

1 日目

10月16日

岡山シンフォニーホール

12:00 ~ 受付開始
12:45 ~ 開 会

● 現地歓迎行事

劇「桃太郎」と「うらじゃ」の踊り

昔話「桃太郎」発祥の地と言われる岡山。その中でも良く聞く話ではなく岡山ならではの「桃太郎」を保育士と子ども達が劇にします。そして、桃太郎とも関係のある「うらじゃ」の踊りで全国の皆さんを元気にお迎えします。

記念講演

日米同盟の正体 — 軍事・経済への影響 —

まご さき うける
孫崎 享

《プロフィール》 元駐イラン大使
「日本外交 現場からの証言」(中公新書)で山本七平賞を受賞
他の著書に「日米同盟の正体」(講談社現代新書)、「情報と外交」(PHP研究所)など

基調フォーラム

憲法をくらしと地方自治に

● コメンテーター
かわ せ のり こ
川瀬憲子

《プロフィール》 自治体問題研究所副理事長・静岡大学教授
主著は、「市町村合併と自治体の財政」(自治体研究社)、「地方交付税の改革課題」(自治体研究社、共編著)、「構造改革と地方財政」(自治体研究社、共著)、「セミナー現代地方財政(株)」(動草書房、共著)など。

ナイター講座 17:30~19:00 ナイター講座は分科会のテーマごとに事前学習を行い分科会の内容に反映させます

1 地域経済の再生と地域づくり



貧困と格差、地域の疲弊をもたらした「構造改革」を転換し、くらしの基盤である経済と地域をたて直す政策と運動を学びます。
講師/永山利和(日本大学)

E

2 憲法をいかした社会保障改革



後期高齢者医療制度、障害者自立支援法、保育制度改革と民主党政権の社会保障政策・財源論。憲法をいかす改革のあり方を学びます。
講師/伊藤周平(鹿児島大学)

F

3 地域主権改革の争点と地方自治



地域主権改革で「国のかたち」をどう変えようとしているのか。憲法に基づく国民生活と社会保障、地方自治の仕組みを学びます。
講師/二宮厚美(神戸大学)

A

現地企画

おかやま楽 17:30~19:00「おかやまの民謡と民謡、地酒を体験し楽しむ」語り部・立石憲利さんによる岡山の民謡と岡山を代表する民謡・下津井節を聞きながら、地元食材をつまみ、日本六古窯の一つ備前焼のぐい飲みで地酒を楽しむ。賢沢で遊び心あふれる「おかやま楽」です。*岡山シンフォニーホール内*定員60人*実費2,500円(ぐい飲み付き・当日徴収)*申込はFAXで現地実行委員会へ(086-227-1393・先着順)

物産展・売店

岡山の名産品、特産品を中心に物産展・売店を開きます。

青年企画

青年とことん! しゃべり場 in岡山

17:30~19:30 岡山シンフォニーホール内
集会に参加した自治体・公務員関係で働く青年、現地の青年による、職場、仕事、生活、その他何でも自由にしゃべり場で交流する青年企画。楽しい交流ゲームも計画中! 初めて自治研に参加する青年も楽しめます!

交通アクセス

会場案内図

JR岡山駅への行き方

- <岡山空港から>
岡山駅方面バス乗り場からリムジンバスで約30分
- <電車>
新幹線のぞみ・ひかりでJR岡山駅へ
JR東京駅から約3時間20分
JR名古屋駅から約1時間50分
JR新大阪駅から約1時間
JR博多駅から約2時間

A 岡山シンフォニーホール (北区表町 1-5-1)

- <徒歩>
JR岡山駅から東へ1キロ(徒歩約15分)
- <路面電車・東山線>
JR岡山駅から「城下(しろした)」下車すぐ
- <自動車>
駐車場はございませんので、最寄りの駐車場をご利用下さい。

B 岡山大学 東キャンパス (北区津島中 2-1-1)

- <バス>
岡電バス
●「岡山駅西口」から「岡山大学・岡山理科大学」行きに乗車。「岡大入口」、「岡大正門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車。

C 京山公民館 (北区伊島町 2-9-38)

- <バス>
●「岡山駅東口7番乗り場」から岡電バス/津高営業所行「武道館口」下車徒歩5分
●「岡山駅東口7番乗り場」から中鉄バス/53号線經由国立病院行「武道館口」下車徒歩5分

D 岡山市勤労者福祉センター (北区春日町 5-6)

- <徒歩>
JR岡山駅から南へ1km徒歩20分
- <バス>
岡電バス
●「岡山駅東口バス乗り場5番6番」から市役所経由に乗車「市役所前」下車、徒歩5分

E 天神山文化プラザ (北区天神町 8-54)

- 岡山シンフォニーホールから徒歩3分
- JR岡山駅から徒歩15分
- <路面電車・東山線>
●JR岡山駅から「城下(しろした)」下車徒歩3分

F サン・ピーチ OKAYAMA (北区駅前町 2-3-31)

- <徒歩>
●JR岡山駅から徒歩5分
●岡山シンフォニーホールから徒歩15分



第1テーマ

暮らしの基盤を確立し、安全・安心で環境にやさしい地域をつくる

1 地域経済

一見つけよう! わが町の宝一

住民の暮らしを守る自治体の役割が今問われている。各地でとりこまれた地域調査活動の経験を含め、地域経済の課題を学び、交流する。

助言者/児玉和人(静岡英和学院大学)

B

2 農林水産業と地域再生、食の安全・安心

「構造改革」で地域崩壊が進み、地域農業の担い手がない。農林水産業のあり方が問われる中、生産者と消費者、自治体が共同して農林水産業と地域再生の道を探る。

助言者/品部義博(岡山大学)

B

3 今こそ、環境の側に立つごみ政策を!

経済不況と財政削減のもとで環境優先の考え方が後退、ごみ処理の広域化や廃プラ焼却など環境に逆行する政策が進められている。今こそ揺るぎない「環境の側に立つ」政策を。

助言者/広瀬立成(東京都立大学名誉教授)

B

4 安心して住み続けられるまちづくり

東京一極集中と地方の衰退を招いた都市政策の破綻。貧困と格差の中で雇用も住宅も無い人々と地方の限界集落。地域産業の活性化でこれからの住まいとまちづくりを考える。

助言者/中林浩(神戸松蔭女子学院大学)

B

5 公害・環境破壊から温暖化防止の地域づくりへ

日本の温室効果ガス排出量の半分は大企業が占め、大気汚染公害の発生源となっている。大型開発による環境破壊、公害問題の教訓から地球温暖化防止の地域づくりを考える。

助言者/早川光俊(CASA・弁護士)

B

6 災害列島の対策と復興

地震や風水害などあらゆる災害から住民を守る、災害に強いまちづくり、的確な救援、住民本位の復興のありかたと自治体の役割について考える。

助言者/池田清(神戸松蔭女子学院大学)

B

7 公共交通を守り発展させ住み良いまちづくりを

現代社会では移動の自由なしには人は生存できず、とくに交通弱者にとって公共交通機関は欠くことができない。生存権としての交通権を保障する、地域交通の有り様を考える。

助言者/土居靖範(立命館大学)

B

8 「戦争する国」づくりと基地・自治体・国民

戦争する国への準備は今も進められている。基地は、核は、密約は、NPT、9条を守る運動、平和都市宣言など全国各地の運動をもとに平和と地方自治について学びあう。

助言者/浅井基文(広島平和研究所)

D

29 町衆文化のまち倉敷を歩く

伝統的建造物群保存地区に指定されている江戸時代天領であった町衆文化のまち倉敷を散策し、景観保存について学習する。

定員/50人
実費/1000円(昼食代除く)
助言者/藤野利明(倉敷案内人)

30 公害から環境再生の現状とジーンズ発祥のまちを巡る

大気汚染公害地域、水島での環境再生・まちづくり、瀬戸大橋の景観破壊・騒音問題、そして尾島が世界に誇るジーンズから地域づくりに関して考える。

定員/40人
実費/2000円(昼食代除く)
助言者/磯部作(日本福祉大学、みずしま財団)

31 ハンセン病問題の現状と未来への展望

国立療養所長島愛生園を見学しハンセン病問題の歴史とこれからの課題について学習したのち、備前焼祭りに移動し日本六古窯、備前焼に触れる。

定員/40人
実費/3000円(昼食代除く)
助言者/志賀雅子(水島協同病院)

第2テーマ

人間らしく生き、豊かに学ぶ

9 誰もが人間らしい生活ができるように

一セーフティネットのあるべき姿を考える一

貧困が拡大する中で、生活保護の運用は改善されつつあるものの、様々な問題も山積している。社会生活の中でも人間らしい生活が送れるセーフティネットのあるべき姿を考える。

助言者/岩間一雄(岡山大学名誉教授)

B

10 人間らしく働き生きるために

一最低賃金を最低生活水準に一

最低賃金額は上げられつつあるが、最低生活の確保には程遠い。必要な最低生活費はどれだけかを考えながら、最賃の実態を検証し、最賃闘争強化について考える。

助言者/伊藤圭一(全労連)

B

11 介護保険10年、安心して暮らせる地域づくりを!

介護保険は10年が経過。「介護崩壊」の危機が叫ばれ、老老介護、「孤立死」などの問題も深刻である。介護保険を検証し安心して暮らせる地域づくりに向けての課題を考える。

助言者/林泰則(全日本民医連)

B

12 障がい者総合福祉法を私たちの立場から考えよう

「私たち抜きに、私たちのことを決めないで!」障害者だけでなく市町村も事業者も制度の運営者という点で当事者である。様々な立場の当事者と一緒に「新法」を考えよう。

助言者/二見清一(知的障害者福祉司)

B

13 住民のいのちと健康を守る地域医療の確立

地域医療の崩壊ストップ。「地域まるごと健康」をめざし、保健・介護・社会福祉そして自治体病院と住民との連携で地域医療を共有財産として発展させる課題をさぐる。

助言者/牧野忠康(日本福祉大学)

B

14 住民と働くものの健康づくり

一保健所・保健センターの役割一

健康自己責任論にもとづいた「特定健診・特定保健指導」が始まって2年。各分野での実態や課題を明らかにし、健康づくりについて具体的なとりくみを展望する。

助言者/山本繁(元尾崎市医務監)

B

15 いつでもどこでも誰でも医療を受けられる医療保険制度を

無保険と貧困によって医者にかかることなく失われていく命。医療保険の実態を明らかにしながら、地域住民の命と健康を守る国民皆保険制度のあり方について考える。

助言者/長友薫輝(三重短期大学)

B

16 共生の地域づくりと社会教育・生涯学習

一学び・つながり・育ち合う一

構造改革のもたらした現代の貧困に立ち向かうために「権利としての社会教育」の創造が求められている。社会教育・生涯学習の実践の蓄積に学びながら、地域づくり運動も視野に可能性を展望する。

助言者/内田純一(高知大学)

C

17 子どもを健やかに育む社会(就学前の子どもたち)

「地域主権」「市場化」「幼保一体化」など、保育のしくみが大きく変えられようとしている。保育所を増やして待機児童を解消し、豊かに子育てできる社会を考える。

助言者/大宮勇雄(福島大学)

B

18 子どもたちの権利と教育

新自由主義教育改革のもとでの学力テスト、学校統廃合、学童保育の実態、子どもの貧困問題など、子どもの権利を守る地域の共同した運動から学びあう方向性を探る。

助言者/世取山洋介(新潟大学、DCI日本支部)

B

19 今もとめられる食育、ゆたかな給食の実現で

子どもたちの食生活が問題になり、食育が重要になっている。子どもたちの現状から今もとめられる給食の役割、可能性を再認識し、関係者のとりくみを交流する。

助言者/新村洋史(至学館大学)

B

第3テーマ

暮らしをささえ、自治を育て、住民本位の自治体づくり

20 政権交代でどう変わる都道府県? 一都道府県行政の役割を再確認する一

政府は地域主権戦略を掲げながらも、都道府県空洞化という点では前政権と同じ路線に立っている。道州制導入の地ならしが進行する中、改めて都道府県行政の役割を考える。

助言者/村上博(広島修道大学)

B

21 市町村合併の現局面と住民主体の地域づくり

平成の大合併は、暮らし・地域・自治体の何を破壊したのか。地域や職場の実態を明らかにしながら、まちづくりの問題点を検証し、住民自治再生に向けての課題を鮮明にする。

助言者/入谷貴夫(宮崎大学)

B

22 新政権と公務公共サービス 民間開放の動向

新政権下でも進む民間開放の事例を検証し、「地域主権」「新しい公共」論に基づき、さらなる地方自治の変質について学び、国民主権・住民主権の行政サービスを展望する。

助言者/尾林芳匡(弁護士)

B

23 町内会・ボランティア・NPOと行政との協働

一身近な自治の仕組みづくり一

住民自治の内実を深め、どう発展させていくかという視点で、住民と行政との協働、身近な自治の仕組みづくりについて、自由かつ大胆に議論する。

助言者/中田實(愛知江南短期大学)

B

24 自治体財政の分析と民主的確立をめざして

財政分析の取り組みを交流するとともに、地域の活力をとりもどす財政のあり方や、政府・民主党の地域主権戦略大綱、特に一括交付金が自治体財政に及ぼす影響を考える。

助言者/霜田博史(高知大学)

B

25 民主的自治体づくり

自治体民主化の鍵を握る首長、議会、住民(運動)、職員と労働組合。それぞれの立場からの民主的自治体づくりを探りながら、本来の地方自治のあるべき姿を展望する。

助言者/長尾淳三(前東大阪市長)

B

26 公務員制度改革と公務員の働きがい

公務員制度改革の現状や課題を学ぶ。人員削減や非正規化が進む職場の実態や運動を持ち寄り、公務員バッシングを乗り越え、住民の期待に応える公務員のあり方を探る。

助言者/晴山一穂(専修大学)

B

27 国連勧告を男女平等行政に活かそう!

国連勧告で、日本の男女平等の遅れに厳しい指摘が。しかし地方では、男女平等行政の予算削減・組織縮小・女性センターの外部委託も進んでいる。前進のための方向性は?

助言者/大村芳昭(中央学院大学)

B

28 これからの住民自治を育てる自治体行政のあり方

憲法が生きる自治体・地域づくりにむけ、まちづくりの理論・実践の第一人者を講師に迎え、平成大合併のもとで改めて地方自治の基本を学び、自治体のあり方・自治体労働者の役割をともに考える。

講師/広原盛明(京都府立大学名誉教授)

B



うら 温羅くん

アルファベットは会場を示しています。会場案内図をご覧ください。

現地分科会の参加には集会参加費のほかに上記の実費が必要です

開 催 要 項

●日時/場所

2010年10月16日(土) 12:45~17日(日) 15:30
 全体会/ナイター講座:岡山シンフォニーホール他 分科会/講座:岡山市内

●主 催

第10回地方自治研究全国集会実行委員会(事務局:自治労連)

●メインスローガン

輝け 憲法と地方自治 連帯の力で くらしを守る政治へ

●規 模:3,000人

●参加費

	議員など自治体関係者	住民団体、個人、学生
2日間参加	6,000円	2,000円
1日のみの参加	3,000円	1,000円

- ※障害者の介助者については、参加費は免除します。
- ※分科会・講座の会場付近は休日のため、昼食の確保は困難です。
なるべく弁当(1個1,000円)の申込みをお願いします。
- ※保育室は1日目(16日)岡山シンフォニーホール、2日目(17日)岡山大学で実施します。
申込み締切り日までに事前に申し込んで下さい。

●宿 泊 【岡山市内のホテル】

区分	シングル料金	ホテル名
a	10,500円	ダイワロイネット岡山駅前
b	9,000円	三井ガーデンホテル岡山
c	8,500円	岡山ロイヤルホテル/アークホテル岡山
d	8,000円	後楽ホテル/ホテルエクセル岡山/岡山ワシントンホテルプラザ 岡山シティホテル桑田町/岡山シティホテル厚生町/シティホテル池田
e	7,500円	ホテルサンルート岡山/岡山キャッスルホテル/岡山ビューホテル
f	7,000円	岡山ビジネスホテルアネックス/岡山ビジネスホテル/セントラルホテル岡山
g	6,500円	東横イン岡山駅西口右(※)/コンフォートホテル岡山(※)

《参加申込み》

早めにお申込みください。
 受付開始/8月2日(月)
 締 切 り/9月30日(木)

《宿泊を伴う参加申込み》

締 切 り/9月3日(金)

申込み・集会内容についての
 問い合わせ

自治労連

☎03-5978-3580 ㊚03-5978-3588
 集会の最新情報は自治労連HP
 (http://www.jichiroren.jp/)をご覧ください。

- ・お申込みは、ホテル区分名でいただき、後日ホテル名・宿泊料についてご連絡いたします。
- ・空室状況によってはご希望どおりの区分のホテルに予約できない場合もございます。ご了承ください。
- ・シングル部屋のほか、部屋数は少なくなりますがツイン部屋もあります。ただしa区分にツイン部屋はありません。
- ・表の料金はシングルの場合です。ツインは、シングル料金の+1,000円から-1,500円の間の金額になります。
- ・宿泊をキャンセルされる場合は、10日前までをお願いします。それ以降のご連絡については、キャンセル料のご負担をお願いするごことがあります。
- ・一泊朝食付。ただし、※印のホテルの朝食は無料サービスメニューです。

第 10 回 地方自治研究全国集会 申 込 書

自治労連 宛

㊚ 03-5978-3588

フリガナ 氏 名			男 ・ 女	都道府県	所属団体・職場等	
連絡先 自宅 職場	住所	都 道	市 区	市 区		
	〒	府 県	町 村	町 村		
	電話番号	FAX				
参加する日および分科会等 (該当する日に○印を)	<input type="radio"/>	10月16日 (土)	おかやま楽 への参加	<input type="radio"/>	する	
保育室 の利用 要	利用日	<input type="radio"/>	10月17日 (日)	分科会・講座番号を記入	弁当の要・不要に○印	
	名前		※注	要	不要	
どちらかに○印を	希望するホテル区分に○印を		喫煙	ツインの申込み		
宿泊を 申込みない 申込み	a・b・c・d・e・f・g		する しない	希望の方は○をつけ、同室者の氏名を記入 氏名		
参加費 (どちらかに○印を)	議員など自治体関係者	<input type="radio"/>	1日3,000円	<input type="radio"/>	2日6,000円	※障害者の介助者 については、 参加費は免除します。
	住民団体、個人、学生	<input type="radio"/>	1日1,000円	<input type="radio"/>	2日2,000円	

※注 おかやま楽・現地分科会へお申込みの方は、自治労連および現地実行委員会(FAX 086-227-1393)の両方へFAXでお申込み下さい。

申込み・集会内容の問い合わせ

事務局 ● 自治労連 〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7 TEL 03-5978-3580 FAX 03-5978-3588
 [E-mail] info@jichiroren.jp http://www.jichiroren.jp/